

## 「サーバリックス」と「ガーダシル」の差異と注意事項

	サーバリックス	ガーダシル
効果・効能	子宮頸がんなどの原因となる <b>HPV16、18型</b> などの「高リスク型」を予防	子宮頸がんなどの原因となる <b>HPV16、18型</b> などの「高リスク型」及び尖圭コンジローマ等の原因となる <b>HPV6、11型</b> などの「低リスク型」を予防
接種回数	3回	3回
定められている接種間隔	2回目：1回目から1か月以上の間隔において 3回目：1回目から5か月以上の間隔において かつ 2回目から2か月半以上の間隔において	2回目：1回目から1か月以上の間隔において 3回目：2回目から3か月以上の間隔において
標準的な接種間隔	2回目：1回目の接種から1か月後 3回目：1回目の接種から6か月後	2回目：1回目の接種から2か月後 3回目：1回目の接種から6か月後
2製剤の互換性	ガーダシルの添付文書には、「本剤と他のHPVワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性のデータはない」と記載されています。片方を接種した後に別の片方のワクチンを接種することはできません。したがって、 <u>サーバリックスなら3回ともサーバリックス、ガーダシルなら3回ともガーダシルとなります。</u>	